

富 監 第 6 9 号
令和7年10月29日

富田林市喜志財産区管理者
富田林市長 吉村 善美 様

富田林市監査委員
中川 元
花岡 秀行
寺内 裕介

令和6年度富田林市喜志財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和6年度富田林市喜志財産区特別会計歳入歳出決算（歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書）及びその他附属書類について審査した結果、次のとおり意見を提出する。

令和 6 年度 富田林市喜志財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

令和 6 年度 富田林市喜志財産区特別会計決算

第 2 審査の期間

令和 7 年 9 月 3 日から令和 7 年 9 月 2 6 日

第 3 審査の方法

審査にあたっては、市長から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が地方自治法及び関係法令の規定にしたがって作成されているか、また、決算計数が正確であるか等を確認するため関係諸帳簿及び証拠書類を照合し、併せて予算の執行が適正かつ効果的に行われているかどうかを主眼として実施した。

第 4 審査の結果

審査に付された令和 6 年度の歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、地方自治法その他関係法令に準拠して作成され、決算の計数も関係諸帳簿、証拠書類と符合し正確であり、本年度の決算を適正に表示していることを認めた。

第 5 決算総括

喜志財産区特別会計歳入決算額は 8,035,285 円、歳出決算額は 8,035,285 円で歳入歳出差引額は 0 円である。

歳入では財産収入及び繰入金が、歳出では議会費及び総務費がそれぞれ減少しており、主な要因は歳入では栗ヶ池仮線路用地等の賃貸借料の減、歳出では選挙費の皆減によるものである。

前年度に比べ歳入・歳出ともにそれぞれ 380,659 円 (4.5%) の減少となった。

公有財産においては、令和 6 年度中の増減はなかった。

基金については、本年度も取崩額が積立額を上回り、577 千円減少しているが、前年度に比べ、基金の減少額は縮小している。

今後も健全な財産区運営を念頭に、基金の計画的な活用に努められたい。

喜志財産区は所有する財産の管理等について、今後も引き続き地方自治法第 296 条の 5 第 1 項の主旨に則り、財産区住民の福祉の増進を図るとともに、市との一体性を損なうことのないよう努められたい。また、財産区財産につい

て、常に良好な状態を維持すべく適切にこれを管理し、その目的に応じた最も効果的な財産区事業の運営に取り組まれることを望むものである。

第6 収支状況

1 歳入

決算額は803万5千円で、前年度（841万6千円）と比較すると38万1千円の減少となり、予算現額に対する収入率は76.7%である。各款別における歳入の状況は〔表1〕のとおりである。

〔表1〕 (単位:千円・%)

区 分	6年度			5年度 決算額	増 減	増減率
	予算現額	決算額	収入率			
使用料及び手数料	6	4	69.8	4	0	0.0
財産収入	3,726	3,725	100.0	3,813	△ 88	△ 2.3
繰入金	6,744	4,306	63.9	4,599	△ 293	△ 6.4
繰越金	0	0	0.0	0	0	-
諸収入	1	0	0.0	0	0	-
計	10,477	8,035	76.7	8,416	△ 381	△ 4.5

2 歳出

決算額は803万5千円で、前年度（841万6千円）と比較すると38万1千円の減少となり、予算現額に対する執行率は76.7%である。各款別における歳出の状況は〔表2〕のとおりである。

〔表2〕 (単位:千円・%)

区 分	6年度			5年度 決算額	増 減	増減率
	予算現額	決算額	執行率			
議会費	1,025	960	93.7	1,064	△ 104	△ 9.8
総務費	9,152	7,075	77.3	7,352	△ 277	△ 3.8
予備費	300	0	0.0	0	0	-
計	10,477	8,035	76.7	8,416	△ 381	△ 4.5

議会費で10万4千円の減、総務費で27万7千円の減となった。これは、選挙費の皆減などによるものである。

第7 財産に関する調書

1 公有財産

(1) 土地

6年度末現在高は117,566.9 m²であり、6年度中の増減はなかった。

(2) 建物

6年度末現在高は325 m²であり、6年度中の増減はなかった。

2 備品

6年度末現在高は0台であり、6年度中の増減はなかった。

3 基金

年度当初の現在高は3,815万9千円で、積立金が372万9千円であったが、取崩額が430万6千円あったことにより、年度中で57万7千円の減となり、6年度末残高は3,758万2千円であった。